

有明鉱火災事故から40年

令和5年度 三池炭鉱掘り出し物語 第3回



559.125 有明鉱災害壮舞 (提供大牟田市)

一新人弁護士が見てきた裁判闘争の軌跡

一死者83名、負傷者13名一昭和59年1月18日、福岡県三池郡高田町(現・みやま市)にあった三井三池炭鉱有明鉱において、この大規模な坑内火災災害は発生した。一方、福岡から遠く離れた千葉で、一人の青年が、その悲惨な事故をテレビニュースで知った。

それから三か月後、司法修習生だった青年は弁護士となり三池に立つ。被害者家族を原告とし、会社側に損害賠償を求め「三井三池有明鉱火災訴訟」の弁護団に加入・・・弁護士として開業してから、時は幾ばくも流れていなかった。被災者家族を回り、原告団への参加を誘った際に感じた厚く高い壁、検証のための最初で最後となった坑道への入坑・・・そして、裁判は平成元年和解解決に至った。

三池炭鉱掘り出し物語 第3回は、「三井三池有明鉱火災訴訟」弁護団の一人、八尋光秀さんに、この訴訟について語っていただきます。

令和5年 12月23日(土)

14:00 ~ 15:30 (開場 13:30)

会場：大牟田市石炭産業科学館
オリエンテーション室



講師：八尋光秀

(福岡県弁護士会精神保健委員
九州・山口医療問題研究会代表幹事)

《プロフィール》

1954 (昭和29) 年生まれ。
1984年 弁護士登録。
西新共同法律事務所開設。
医療過誤事件、薬害エイズ訴訟、ハンセン病
胎前症、薬害肝炎訴訟等の集団訴訟、刑事冤
罪事件などに関わり、「患者の権利宣言」患
者の権利法」運動に参加、医事法学会に所属。
主な著作に『90年目の真実』などがある。

大牟田市
石炭産業科学館

〒836-0037 福岡県大牟田市岬町6-23
TEL:0944-53-2377 FAX:0944-53-2340

【主催】
大牟田市石炭産業科学館
大牟田市・荒尾炭鉱のまちプロジェクト